



NEWS

VOL.
157
2012・1月発行

高II研修旅行ドバイコース 平成23年10月7日(金)~13日(木)

未知の世界で、世界の大きさを実感する。

イスラム世界と砂漠体験、開発の未来を問う旅

今年度から初めて高IIの研修旅行に加えられたドバイコース。砂漠で暮らすアラブの人々、急速に発展し、世界の資本が集まる街。未知のイスラム世界に初めて足を踏み入れ、非常に多くのことを感じとり、考えた研修旅行でした。

空港からホテルへ向かう車窓から見えた世界一高い建造物ブルジュ・ハリファに、生徒たちから一斉に歓声が上がリ、世界の大きさを感じ

る旅が始まりました。

様々な学びのある中で、特に現地のザイド大学の学生たちとの交流会では、「日本の人たちに私たちの事を知ってほしかった」という彼らの願いの通りに友好を深め合うことができ、「お互いを尊重し、異文化を尊重する」ドバイの人々に感動したとても貴重な経験となりました。



4WDで砂漠へ

飛行機 / 約10~11時間



ドバイ



男性の民族衣装



女性の民族衣装



ザイド大学のキャンパス



ザイド大学での交流会



ブルジュ・ハリファ

ジュベル・アリ・フリーゾーンに着いた時は、リゾートみたいな風景にテンションも高まった。働く人々が笑顔で“Hello, welcome!”と声をかけてくれる雰囲気は日本とは何かが違う器の大きさを感じた。みんなが生き生きしている感じがした。彼らは、急な訪問だったにも関わらずとても歓迎してくれた。フリーゾーンで行われている事業を紹介するビデオを見たが、自分の中に何かビリビリと走るものがあった。「世界にはこんな所があるのか」という驚きと、それを知った感動と、今まで何も知らなかった自分の小ささや無力さを感じた。

でもそこには、確かに自分と同じ人間の力によって世界がひとつに繋がるシステムがあった。それを感じた瞬間に何か震えがきて、熱いものがこみ上げてきた。人生の中で一度も経験したことのない感動だった。自分が大人になって、日本の中だけにとどまっているなんて小さすぎる。もったいなさすぎる。世界にはもっとすごいシステムがある、すごい人がいる。それらが力を合わせれば、どんなことだってできるんじゃないか。自分も将来、世界を手掛けるような大事業を受け持ち、それを成し遂げたい。そんな思いが頭の中にはっきりと浮かんだ。

II年3組 鈴木 秀典

ドバイに来て、イスラム教徒は他の宗教や文化を尊重する人々であるということがわかった。また、ドバイで交流したザイド大学の学生、レストランや農園など複数の会社を経営するドバイの人、ホテルの総支配人、ドバイでがんばっている日本人起業家の方たちはみな、他人を受け入れることを大切にしていた。だからこそ、ドバイには多くの外国人が集まり、急速な発展をすることができ、世界のリーダーとも呼ばれる存在になったのだと思う。

私はこれから、自分とは全く異なった価値観、考え方を持った人をも受け入れていきたい。そうすることで、自分もリーダーシップをとれるような人間になっていきたい。

II年2組 末原 匠



女子は長袖。スカーフで髪を隠さなくてははいけません

CONTENTS

●高II 研修旅行	1・2
●2年研修旅行	2
●4年夜間歩行	3
●3年学習合宿	3
●4年社会人講演会	3
●第47回文化祭	4
●大学入試合格速報	5
●TOPICS	6
●表彰	6
●CLUB NEWS	6



三線の練習

男子8名、女子19名の生徒が「沖縄・伊江島ホームステイ体験コース」に参加しました。青く透き通った海、サンゴが敷き詰められた白いビーチで楽しむとともに、2人1組で“おじい、おばあ”の家に4泊し、黒糖作り、農業体験、釣りなど、伊江島での日常生活を体験しました。また、琉球舞踊や三線の文化体験も行いました。最終日

の夕食会で練習の成果を披露させていただくと、島の方々も飛び入り参加され、大いに盛り上がる事ができました。島のおじい、おばあんの愛情を全身で感じ、2度と体験できない貴重な日々を生徒たちは過ごしました。自分にとって何が大切なのかを知り、これからの生き方について考える良い経験となりました。

毎日のように浜辺を歩き、貝がら探しをしたり、美しい夕日を眺めたりした。さとうきび畑は、私の姿を隠した。夜は、おじいさんが三線を弾きながら唄った。その隣には、おばあさんの笑顔があった。時計の針はゆっくりと進んでいく。こんな穏やかな時間がずっと続くといいなと思った。最後の日、私は寂しくはなかった。私はおじいとおばあに別れを言ったが、またここに帰ってくる気がしたからだ。「なま、ちゃん」と言いながら。「(「なま、ちゃん」…沖縄の言葉で「ただいま」の意) Ⅱ年5組 山野 千都

高Ⅱ研修旅行／平成23年12月23日(金)～28日(水)
越後・妻有 雪国の暮らしにゆったりひたる旅



雪かきは毎日の仕事

私たちの妻有到着を待っていたかのようにクリスマス寒波が到来し、滞在中は地元の方も驚くほどの大雪となりました。生徒達はそれぞれの受け入れ農家宅にホームステイをしながら、背丈ほどの雪に閉ざされた中で、連日の雪かきや雪に埋まった畑での野菜掘りなどの生活を体験しました。また、妻有地域で3年ごとに開かれる「大地の芸術祭」で制作された作品の見学や、スノーシュー(西洋かんじき)を履いて雪に埋まったブナ林での雪上トレッキング、スキーなど雪国生活を十分に満喫することができました。地元農家の方々と触れ合う中で、温かいもてなし、雪と共に生活する人々の絆や力強さなど、多くの感動と学びを得ることができました。

僕はこの研修旅行において、広島では絶対にできない、そして味わうことのできない貴重な体験をしました。ホームステイ先は、積雪が僕の身長よりはるかに高い所まであり、一面の銀世界に家がポツンポツンとあるような場所でした。僕は毎日雪かきの手伝いをしました。とても寒いはずなのに、雪かきをしていると汗が出てきます。雪かきは大変な作業だと改めて感じました。農家の方との交流を通じて温かい心を感じることができ、有意義な経験ができました。 Ⅱ年1組 石井 貴正

高Ⅱ研修旅行／平成23年12月23日(金)～28日(水)
北海道スキーコース【北海道留寿都・洞爺湖・札幌】



スキー講習中

「『五感』を通して冬の北海道を感じよう」をテーマに、北海道でスキー研修を行いました。天候にも恵まれ、生徒たちは4日間の研修期間を満喫しましたが、初めてスキーをする生徒もいましたが、インストラクターの方々のきめ細かい指導のおかげでメキメキ上達し、最終日には2級3人をはじめ、45人全員が検定に合格することができました。スキーを通して北海道の大自然を体で感じ、旅館に帰ってからは温かい雰囲気の中、温泉とおいしい料理で疲れを癒すことができました。

テーマの通り、五感で冬の北海道を感じるとともに、自然とのつながりや人とのつながりも感じる事が出来た有意義な研修となりました。

今回の研修旅行では「明確な目標を掲げ、それに向け努力する」という過程を実感することができました。今回僕は、バジテスト2級取得というかなり高いハードルを設定し、それに向かって4日間インストラクターの方の指導を受け練習を重ねました。その中でも特に3日目の内容はきつ、翌日のテストに備え、リフトに乗っては滑ることを繰り返しました。班の皆もプレッシャーを強く感じていました。しかし、そんな中でも集中して努力することができ、見事班員全員が2級に合格することができました。僕はこのことを自信につなげ、今後も努力が必要とされる様々な場面で生かしていきたいと思えます。 Ⅱ年1組 竹岡 壮樹

2年研修旅行／奈良・京都



薬師寺の法話は非常に興味深い話でした

前期から後期、中学校生活の折り返しの秋休みに、奈良・京都への3泊4日の研修旅行が行われました。夏休み前から約3カ月間事前準備をして臨んだ行事ですが、発見・学びの多い旅行になったようです。1日目の奈良公園・薬師寺・法隆寺の見学、2日目の明日香村サイクリング研修では奈良の歴史を肌で感じる事ができました。3～4日目は京都でタクシー

研修、コース別研修を行いました。神社仏閣の見学だけでなく、実際に京都の文化や伝統を体験することができ、京都の街を時間いっぱい堪能しました。旅行後は、事後学習として各自の研修旅行記をまとめていきました。また文化祭では、自分たちの体験や発見をクラス展示として表現し、より深まった学びを来場者に向けて発信することができました。

初め「班長はやりたくない」と思っていたのですが、今は「やってよかった」と感謝しています。集団を引っ張るという事から、協力や思いやりの姿勢がよく身に付いたからです。班長・室長会議では、様々な話や気づきを聞くことができました。集団行動の意味を先生から話をいただき、とても勉強になりました。 2年2組 矢野 琢真



いざ、出発!(生口島B&G海洋センター)

この経験が必ずや活けると信じています。身体中の痛みと戦いながらゴールした者、まだ余力があって元気いっぱいゴールした者、疲れのあまりゴール後に寝てしまった者、など色々いましたが、生徒一人ひとりが各自の持てるものを発揮して終える事ができた、約60,000歩の完歩劇でした。

今年度は天候等のコンディションにも恵まれ、出発当初、4年生は元気に歩いて行きました。しかし夜中になると、徐々に最初の元気は消え足取りも重くなる中、みんなで声を掛け合い支えながら歩く姿が見られました。何のために夜中にかけて歩くのか疑問に思っている生徒も多いでしょうが、将来大人になって様々な困難にぶつかった時、この



疲れたけれど無事にゴール!(糸山公園来島海峡展望台)

最初は夜間歩行が嫌でした。43.3kmも歩く意味が分からず、一晩中、寝る事ができないなんて考えられませんでした。でも、いざ始めてみると予想外に楽しく、普段あまり話さない友達と話事ができて、色んな人と仲良くなれた気がします。普段では体験できないような事ができ、自分の成長に大きな影響がありました。大きなことを自分の力でやり遂げる達成感、仲間と協力する喜び、様々なことを学びました。以前の自分は、人と協力することが苦手な積極性に欠けていましたが、今は楽しさを知っているので、協力して取り組めると思います。またこれまでは、すぐに「無理だ」「面倒くさい」と思って、やる前から諦めていましたが、今度からは例えできそうにない事でも諦めずに挑戦しようと思います。夜間歩行に比べれば、どんなことでも楽にできそうな気がします。とてもいい思い出になりました。

4年6組 山本 真由

3年学習合宿

平成23年10月12日(水)～14日(金)



数学の授業風景
熱心に授業に臨む様子が見られました

例年通り沼田校舎で学習合宿が行われました。英数国を中心とした授業、テスト、自学自習を行い、学習時間の合計は3日間で870分にもなりました。時間もさることながら、勉強に取り組む姿勢を見直したり、仲間の真剣な姿に刺激を受けたり、進路に関する講演を通して自分の将来を見つめたりと有意義な合宿となりました。

私は、この学習合宿を通して、自分は何のために勉強しているのかを考えました。今は実力テストのため、その先は大学受験のためだということは確かですが、心から「これだ」と思えるような大学も学部も、やりたいことも就きたい職業もありません。それでも、もし一つの夢が見つかったとき、学力がないために断念してしまうようなことにはなりたくありません。そのために勉強するのだと思いました。高Ⅲになって目標がなく、自分の行ける大学の中から志望校を決めることはしたくありません。そうならないように、日ごろから自分が興味のないこともやってみようと思います。先入観で学部を決めたり、消去法で残った所に進学したりするのではなく、自分で決めた目標が実現するようにしたいです。

3年2組 山田 有咲

学習合宿を終えて、今までの自分とは一味違う自分に出会えたなと思いました。例えば、夜の自学自習では、静かに集中して学習することができました。今までの自分だと、すぐに集中力が切れてやめていたと思います。1日目はあまりできなかったけれど、2日目はとても集中できて2時間半はあつという間に感じられました。

大学についてもいろいろなことを知りました。例えば、模試は大切とか、センター試験は教科書から問題がよく出るなどです。だから、日々の家庭学習や授業を大切に、3年後へ向けて頑張りたいです。

3年4組 田中 駿也

4年社会人講演会

平成23年11月25日(金)



真剣に耳を傾けました

4年生の社会人講演会は会場の企画や準備、当日の司会、挨拶、記録まで、役員生徒を中心に全て生徒自身で行いました。

今年度は、本校卒業生である花房育美さんを新たに加え、9名の講師をお迎えしました。生徒は各分科会に分かれ、計2名の講師からお話を伺いました。各方面の第一線で活躍する講師の先生方は、

仕事に就いたきっかけ、情熱、やりがいや魅力、厳しさなどを語ってくださいました。またその後の質疑応答では、色々な質問に対して答えてくださいました。

運営役員の生徒は会を運営する難しさやおもしろさを実感し、文理選択の時期を迎えた4年生たちは将来について改めて考え、大きなヒントを得ることができました。

分科会より

第1分科会 荒川 共生氏

(ボルネオ保全トラストジャパン 理事、旅行会社マイチケット スタッフ)

「つながりを見つけよう～国際協力に求められる視点と態度～」

講演内容

■荒川さんの活動について

- ボルネオ島で分断された熱帯林をつなぎ、森の多様性を取り戻す活動
- マレーシアを中心に、現地のコミュニティが環境問題などを解決しながら自立するための支援活動
- 現地での取り組みを学ぶスタディーツアーの運営

講演とワークショップを通して、世界の環境問題や貧困問題を解決するために高校生がどのような国際協力ができるかを考えました。

第8分科会 松尾 康志氏

(楽しい株式会社&株式会社メリーズ・ジャパン代表取締役)

「お客様に喜ばれて楽しい、社会に貢献して楽しい、儲かって楽しい会社です」

講演内容

■松尾さんが環境問題に取り組む会社を立ち上げた思いや経緯などについて

■会社の取り組みについて

- 微生物着床竹炭を使用した食品残渣分解機の開発とレンタル
- 堆肥の販売
- 安全な竹割り箸・リサイクル竹炭の販売
- 持続可能な食品残渣の地域内循環のしくみ作り

松尾さんの会社の取り組みを参考にしながら、環境保全のために行動する意欲を高めることができました。

今年の文化祭テーマは「四重奏〜カルテット〜」。2日間とも天候に恵まれ、気持ちのいい秋空のもとで開催することができました。

1日目の体育館ステージは4年3組による劇でスタートしました。中高バトン部の演技に続いて中高合唱部。そして、中高吹奏楽部・中高室内楽部はそれぞれの発表に加えて、オーケストラとしても演奏しました。

2日目はハトがモチーフの巨大モザイクアートがグラウンドに登場。高IIがこの日のために制作しました。グラウンドでの模擬店も大盛況でした。中庭ステージでのパフォーマンスは活気にあふれ、各教室展示にも大勢の方々にお越しいただきました。また、体育館ステージ、シェルホールでのピアノコンサートも開催。PTAバザーも大人気でした。

生徒、教員、保護者、来場者の四者で作り上げることができた文化祭。まさにカルテットのような素敵なハーモニーを奏で、楽しく充実したものになりました。

グラウンド



みんなの力でひとつの作品を完成!



横から見たモザイク

高II 全員参加。かかった日数145日。折り鶴の数は103,672羽。青空の下、大きく羽ばたくハトの姿が浮かび上がりました。



模擬店ではユニークなメニューが

体育館・中庭



4年演劇「心と事件と男と女」

ステージ発表は、体育館・中庭・シェルホールの各会場で行われました。大きな感動をありがとう!



中高バトン部の演技

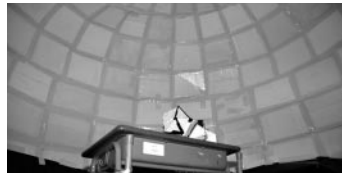


中庭ステージライブ

教室



4年「ESCAPE」教室が巨大立体迷路に!?



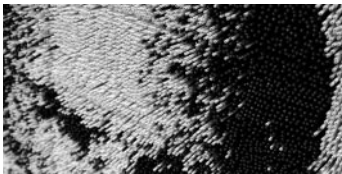
3年プラネタリウム「なぎざナイトスター」



2年研修旅行・金閣寺のオブジェ



2年研修旅行・紅葉のそばで写経を



1年爪楊枝を使ったトリックアート



1年「がんばろう日本」思いをこめて・・・



3年「〇〇で作ってみた」



大好評のPTAバザー

広島なぎさ中学校 創立50周年記念展示



広島なぎさ中学校の50年を紹介



これまでの制服ラインナップ

1961年に広島工業短期大学附属中学校として開校してから50年になるのを記念して、広島なぎさ中学校の沿革や懐かしい校旗・制服を展示し、先輩方の歩まれた道に思いを馳せました。なお、記念行事は高等学校が50周年を迎える平成27年に行う予定です。

最後のマレーシア研修旅行

マレーシア・ボルネオ島サラワク州で、自然と共生するイバン族のロングハウスにホームステイするサラワク・スタディー・ツアー。14年間で234人の高校生が参加した研修旅行を締めくくる展示を行いました。



最後のサラワク体験記「kiseki」



展示会場の様子

大学入試合格速報

1月14日(土)・15日(日)に大学入試センター試験が終わり、高校Ⅲ年生は、私立大学入試、国公立二次試験に向けてラストスパートをかけています。そんな中で一足早くAO入試や推薦入試などで将来の夢への第一歩を踏み出した生徒もいます。勉強や進路について模索している中学生や高校生のみならず、先輩たちのメッセージをしっかりと受け止めて、先輩の後に続きましょう。



岩田 皆子 (Ⅲ年3組)

大学名
九州大学 21世紀プログラム

志望動機

世界の現状を知って、貧困や格差などの世界の問題を解決したいと思うようになった。そのためには様々な角度から物事を捉えることが大切だと思い、学部を越えて学べるところを選んだ。

試験内容

1次:書類(調査書・志望理由書・活動報告書)
2次:レポート・討論・小論文・面接

勉強方法

中学の頃から、定期考査の勉強にはしっかりと取り組んできた。自分が興味をもったテーマや分野はもちろん、興味の無い分野についての本も読んだ。講演会や勉強会に積極的に参加し、多くの人の意見に触れた。調べたことをまとめたり、自分の考えていることを文章に表現したりするように努力した。

高校時代にやっておいて良かったこと

・中国新聞のジュニアライター:記事を書くことは、物事を客観的に捉える練習になった。
・ニュージーランド語学研修、マレーシア研修旅行、中国などに行き、外側から日本を見つめることができた。
・国際部や学校外の中高生の団体に所属して活動することで、問題を解決するためにはどうすべきなのかが見えてきた。

先輩へのメッセージ

何か一つでも、自分の好きなこと、得意なことを見つけ、それを極めることで道が開けてくると思います。出会いを大切に、支えてくださっている多くの方々への感謝の気持ちを忘れないでください。自分が行動するのかもしれない時は、行動してみることが大切です。必ず前へ進み、何かが見えてきます。志望校に行きたいという思いを強く持ち、そのために努力すれば願いは叶います。



香川 恭乃 (Ⅲ年2組)

大学名
立命館大学 スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科

志望動機

サッカー部でのマネージャー活動を通して、高Ⅱの春頃、将来はプロスポーツに携われる職業に就きたいと考えた。職業に必要な能力・技術をつちかうための研究機器・インターンシップ制度が整っているため志望した。また、海外留学支援が充実しており、海外のトレーナーの資格を取得しやすいのも魅力的だった。

試験内容

1次:小論文(500字・1500字)
2次:面接(日本語3割、英語7割の20分)

勉強方法

高Ⅱの時から少しずつだが受験勉強を始めた。時間を工夫して、予習・復習や宿題以外の勉強時間を作った。自分に最適な勉強方法を探ることがベストだと思う。

高校時代にやっておいて良かったこと

部活をしていなければ進路は決まらなかったと思う、部活での経験は自分の自信にもなった。イギリス研修旅行では、様々な文化を持つ人たちと交流することで世界が広がった。

高校時代にやっておけば良かったと思うこと

受験に必要な科目を重点的に勉強したが、大学で必要な科目を全く考えず授業選択をしたから、少し大変になった。入試に合格するための勉強も大事だが、その後のことも考えて授業選択をし、勉強してください。

先輩へのメッセージ

様々な経験・出会いを大切に、自分がすべきこと、したいことは諦めず、妥協せず、強い意志を持って全うしてください。そうすれば可能性は無限に広がります。



三反田 成美 (Ⅲ年2組)

大学名
明治大学 経営学部 経営学科

志望動機

夏休みにオープンキャンパスに行き、大学の雰囲気よかった。学科のカリキュラムを深く知って決めた。

試験内容

小論文・面接

勉強方法

中学の頃から授業をしっかりと受け、定期考査を常に頑張った。その際、苦手な科目も手を抜くことなく勉強し、目標を定めることでやる気を維持させた。

高校時代にやっておいて良かったこと

バトン部、生徒会活動、ニュージーランド1年留学、応援団。自分を成長させることができた。

先輩へのメッセージ

すべての経験は自分の成長へとつながると思い、積極的にいろいろなことに参加したり、経験したりしましょう。メリハリをつけて、しっかりと学び、遊びましょう。クラブのせいで成績が悪いというのは言い訳です。濃い学校生活を送り、楽しんでください。



三崎 心 (Ⅲ年5組)

大学名
関西外国語大学 外国語学部
英米語学科

志望動機

中2でニュージーランド交換留学、高1でニュージーランド語学研修、高2でイギリス語学研修に参加し、英語圏の国に行くことで英語やその国の文化についてもっと学びたいと思った。

試験内容

英語(90分)

勉強方法

英語は必ず予習をして授業に臨んだ。高Ⅲになってからは毎日1つまたは2つの長文を読むようにした。長文で出てきた単語は覚えるように心掛けた。自分で決めた問題集は何度も繰り返し解いた。

高校時代にやっておいて良かったこと

語学研修に行くことで、自分の考えや価値観が変わり、世界に視野を広げることができた。

高校時代にやっておけば良かったと思うこと

英単語は早いうちから地道に覚えて語彙を増やしておけばよかった。

先輩へのメッセージ

自分が本当にしたいこと、やりたいことは何なのかを見つけるためにも、様々なことにチャレンジしてみてください。



大竹 真理子 (Ⅲ年3組)

大学名
国際基督教大学 教養学部
アーツ・サイエンス学科

志望動機

外国語に興味があり、イギリス研修旅行を通してさらに関心が深まった。様々な学部を選択することができるので知識の幅が広がり、自分に不足しているものを補うことができると思った。

試験内容

小論文(110分)・面接

勉強方法

中学生の頃から課題や提出物は期限内に必ず出すようにした。当たり前のように感じられるかもしれないが、この習慣が大切。最終的には日々の積み重ねがものを言う。また、部活などで忙しくても、空いた時間を利用してメリハリをつけて勉強した。

高校時代にやっておいて良かったこと

部活動。精神的にとでも強くなり、先生や部員に支えられてたくさんのお話を学び、得ることができた。どんなに辛くても努力すれば必ず報われる。

高校時代にやっておけば良かったと思うこと

読書、新聞を読む。世の中のことをもっと知っておけば良かった。様々なことに興味を持つことが大切だと思う。

先輩へのメッセージ

周りを見て焦ることや不安になることがあると思います。しかし、人は人、自分は自分。自分を信じて努力することが成功につながります。途中で諦めず、悔いの残らないよう最後までやりきってください。



横山 翔一 (Ⅲ年1組)

大学名
日本大学 芸術学部 デザイン学科

志望動機

高Ⅰの時、芸術方面でお世話になっている師匠の教室に通っている子どもたちに、簡単な玩具を作ってあげると、とても喜んでくれた。自分の作ったモノで人々を幸せにできる仕事に就きたいと思った。

試験内容

1次:(1日目)オーディションシート(90分)・実技(3時間)
(2日目)実技(6時間)・面接(10分)

勉強方法

中学の頃は自分の勉強スタイルを確立することを心掛けた。高Ⅰから自分の行きたい方向を決め、それに合った大学を探し、定期考査に力を入れた。小事を成す者は大事を成す、あたり前のことをしっかりとやっておけば、受験の時もしっかりと切り替えられる。

高校時代にやっておいて良かったこと

ソフトテニス部で先輩たちと一緒に戦い抜けたこと。その過程で一生続くような絆を手に入れることができた。ハイキング部の活動では、精神を鍛えることができた。

先輩へのメッセージ

何も考えず勉強するのではなく、将来なども含む広大な未来のビジョンを持った上で勉強してみてください。受験勉強に限ることではありませんが、自分こそが自分にとっての最大の敵です。常に「現在の自分を超越していく自分」を意識しましょう。そうすれば必ず道は開けます。頑張ってください。

2012年度入試 大学合格状況 (AO・推薦入試)

[国公立大学]			2012.1.12現在	
大学	学部	学科	合格 男子	女子
九州大学		21世紀プログラム		1

[私立大学]				
大学	学部	学科	合格 男子	女子
国際基督教大学	教養学部	アーツ・サイエンス学科	1	1
東京薬科大学	生命科学部		1	1
日本大学	芸術学部	デザイン学科	1	1
武蔵野大学	環境学部	環境学科	1	1
明治大学	法学部	法律学科	1	1
	商学部	商学科	1	1
	経営学部	経営学科	1	1
京都医療科学大学	医療科学部	放射線技術学科	1	1
京都外国語大学	外国語学部	英米語学科	1	1
京都造形芸術大学	芸術学部	キャラクターデザイン学科	1	1
京都文教大学	臨床心理学部	臨床心理学科	1	1
同志社大学	政策学部	政策学科	1	1
立命館大学	文学部	人文学科	1	1
	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	1	1
大阪薬科大学	薬学部	薬学科	1	1
関西外国語大学	外国語学部	英米語学科	1	1
	国際言語学部	国際言語コミュニケーション学科	1	1
関西学院大学	法学部	法律学科	1	1
	商学部		1	1
	教育学部	幼児・初等教育学科	1	1
福山大学	薬学部	薬学科	1	1
広島工業大学	生命科学部	生体医工学科	※1	※1
		食品生命科学科	※1	※1
	情報学部	情報工学科	※1	※1

※は過年度卒生

『文化部のインターハイ』とも呼ばれる「全国高等学校総合文化祭」に、室内楽部・吹奏楽部、バトン部、放送部が広島県代表として出場することになりました。概要は以下の通りです。

【器楽・管弦楽部門】

日時 2012年8月
10日(金)・11日(土)
場所 富山市
芸術文化ホール
(富山県富山市)



2011年度なぎさ
オーケストラメンバーたち

今年度はこれまでよりもオーケストラとしてのまとまりを意識してやってきていたので、今回オーケストラとして最優秀賞を取れたことは大きな意味のある一歩だったと思います。この賞は今まで積み上げてきたものが実った結果だと思うので、ここまで引っ張って来てくださった諸先輩方や先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。全国大会でも、なぎさの名前を背負って私たちがいい演奏ができるように頑張りたいと思います。

Ⅱ年2組 石原 優希
Ⅱ年4組 三宅めぐみ・Ⅱ年5組 岡村 奈央

第35回広島県高等学校総合文化祭音楽祭
管弦楽部門

最優秀

平成23年度全国学校合奏コンクール
高等学校の部【広島県大会】

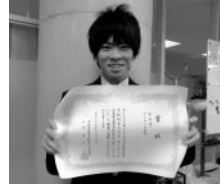
最優秀賞

平成23年度全国学校合奏コンクール
高等学校の部【中国地区大会】

優秀賞

【放送部門】

日時 2012年8月
11日(土)・12日(日)
場所 富山国際会議場
(富山県富山市)



やっと手に入れた賞状!!

今回このような結果が出せたのは、周りの人の支えがあってこそと実感しています。いつもあと一歩の結果で、「悔しかったら賞状の一枚くらい取って来い」と叱られたこともあり、「今回こそは少しでも良い成績を残したい」と思っていました。

県大会で決勝に進出することが決まって緊張していた僕に、「リラックスして読めば大丈夫」と励ましてくれたのは、後輩と先生でした。緊張が解け、アナウンスで最も大切な「自分の思いを伝えよう」という気持ちで読むことができました。

本番まで7カ月ありますが、これからも周りの人の支えを忘れずに、全力で練習に励みたいと思います。 Ⅱ年1組 三小田 匠

第35回広島県高等学校
総合文化祭放送文化部門
(第22回広島県高等学校
放送文化コンクール県大会)

アナウンス部門
優秀賞(第2位)

【マーチングバンド・バントワリング部門】

日時 2012年8月10日(金)
場所 水見市ふれあいスポーツセンター(富山県水見市)

第39回マーチングバンド・バントワリング
全国大会

銀賞

1月7日、高校バトン部11名は幕張メッセで行われた第39回マーチングバンド・バントワリング全国大会に出場しました。初出場でしたが銀賞をいただきました。また、他団体のレベルの高い演技から本当に多くのことを学べたと思います。応援してくださった皆様、ありがとうございました。



笑顔で、楽しんで踊りました!

私達はずっと夢に見ていた全国大会に出場することができました。夏から取り組んできた曲ですが、今回の演技ではバトンを落とす回数もとても少なく、最高の演技ができました。今までの練習の成果が発揮できて嬉しいです。指導してくださった先生方には、とても感謝しています。全国の壁はまだ高いですが、この経験や感謝の気持ちを忘れず、今後も頑張ります。ありがとうございました。

Ⅱ年3組 柳川 寿々花

表彰

■第8回広島県高校生スピーチ・レシーションコンテスト(スピーチの部)

日時:平成23年10月1日(土)
【優良賞】芝 海斗(Ⅱ-4)

■第61回広島県統計グラフコンクール

【広島県教育委員会賞】甲斐 遥(Ⅱ-3) 【NHK広島放送局賞】名田 涼香(Ⅱ-5)

■第55回JA共済広島県小・中学生書道コンクール 半紙の部

【特別賞】水島 淑華(2-5)

■第24回広島市科学賞

【優秀賞】亀崎 理生(2-3)

■第45回中学生の税についての作文

【廿日市税務署長賞】平野 允彬(3-4) 【広島国税局長賞】中村 安那(2-4)

■平成23年度広島県児童生徒徒明くふう展

【日本弁理士会中国支部長賞】【広島市長賞】『至高の一滴』平野 允彬
【広島県産業教育振興会会長賞】【広島商工会議所会頭賞】『買い物ヘルパー』下光 将太郎(2-5)

CLUB NEWS

高校バドミントン部

●平成23年度新人バドミントン大会広島地区予選

日時:平成23年9月16日(土)・17日(日)

成績:ダブルス

殿納 健太郎(Ⅱ-5)・森川 功基(Ⅱ-5)

ベスト16 県大会出場

家数 拓弥(Ⅱ-4)・益田 光(Ⅱ-3)

ベスト16 県大会出場

シングルス

森川 功基 ベスト32 県大会出場

高校陸上部

●第20回中国高等学校新人陸上競技選手権大会

日時:平成23年10月15日(土)・16日(日)

成績:男子100m 池内 雅貴(4-3) 第6位

男子200m 池内 雅貴 第2位

男子4×100mリレー

渡邊 浩陽(Ⅱ-1)・池内 雅貴・

角山 巧(4-1)・椎原 尚也(4-2) 第8位

高校柔道部

●第60回広島県高等学校新人大会

日時:平成23年11月6日(日)

成績:団体の部(男子2部) 第3位

高校硬式テニス部

●平成23年度第52回広島県高等学校

テニス選手権大会広島地区予選(個人戦)

日時:平成23年12月17日(土)・18日(日)

成績:男子ダブルス

林 惇平(4-3)・曾田 駿希(4-6) 県大会出場

男子シングルス

青木 信介(Ⅱ-2) 県大会出場

小田 紘生(Ⅱ-2) 県大会出場

●平成23年度

第64回広島県高等学校テニス新人大会(個人戦)

日時:平成23年9月24日(土)・25日(日)

成績:男子ダブルス

青木 信介・村竹 匠(4-5) ベスト8

高校水泳部

●平成23年度広島県高等学校新人水泳競技大会

日時:平成23年9月24日(土)・25日(日)

成績:400m個人メドレー 小山 敦子(4-5) 第8位

中高バトン部

●第28回マーチングバンド・バントワリング中国大会

日時:平成23年11月6日(日)

成績:コンテスト中学の部 金賞

コンテスト高校の部 金賞 全国大会出場

中学陸上部

●第60回広島県中学校総合体育大会陸上競技の部

日時:平成23年9月24日(土)・25日(日)

成績:男子100m 恵良 昂平(3-6) 第6位

男子200m 恵良 昂平 第7位

男子4×100mリレー

平江 瑞基(3-1)・恵良 昂平・

城本 将臣(3-4)・有田 竣哉(3-4) 第8位

●平成23年度広島市新人陸上競技大会

日時:平成23年11月5日(土)・6日(日)

成績:一部女子100m 水谷 瑛美莉(2-4) 第4位

一部女子200m 水谷 瑛美莉 第3位

一部女子800m 中野 夢果(2-2) 第8位

一部女子砲丸投 脇田 愛生(2-1) 第8位

一部女子4×100mリレー

脇田 愛生・水谷 瑛美莉・

藤井 友花(2-5)・丸山 奈々花(1-3) 第4位

中学硬式テニス部

●平成23年度広島市中学校新人テニス大会

日時:平成23年11月5日(土)・6日(日)

成績:男子団体戦 準優勝

男子個人戦シングルス

竹野 光稀(1-1) 第2位

澤田 文弥(1-5) 第3位